

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月 31日

目次

■事業報告概要.....	1
■事業報告	
【総務課】	
(1) 法人運営事業.....	4
(2) 福祉・介護人材確保基盤整備事業.....	7
(3) センター受託管理運営事業.....	7
【地域福祉課】	
(1) 小地域のお茶の間サロン事業.....	8
(2) 認知症カフェ事業.....	8
(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」.....	10
(4) 地域福祉交流推進基金事業【地域福祉会議】.....	10
(5) ふれあいサロン事業.....	12
(6) 成年後見事業.....	13
(7) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業.....	13
(8) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」.....	16
(9) 安心生活創造事業.....	17
(10) ファミリー・サポート・センター事業.....	17
(11) 子育て支援センター一時預り事業.....	18
(12) 障がい者地域生活アシスタント事業.....	19
(13) 配食サービス事業.....	19
(14) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業.....	20
(15) 車椅子1日無料貸出.....	20
(16) 一般介護予防事業（げんき教室）.....	20
【関連機関事務事業】	
(1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業.....	22
(2) 共同募金配分金事業.....	22
(3) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業.....	23
【在宅福祉課】	
介護保険事業.....	25
(本所事業所)	
(1) 居宅介護支援事業.....	25

(吉田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	26
(2) 障害者自立支援事業.....	27
(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）.....	27
(4) 訪問介護自費サービス事業.....	27

(甲田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	27
(2) 障害者自立支援事業.....	28
(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）.....	28
(4) 産前産後サポート事業.....	29
(5) 通所介護事業.....	29
(6) 福祉用具貸与事業.....	29
(7) 福祉用具販売事業.....	30

【地域包括支援センター】

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）.....	31
(2) 包括的・継続的ケアマネジメント業務.....	32
(3) 地域ケア会議.....	34
(4) 権利擁護業務.....	35
(5) 関係機関との連携.....	36
(6) 広報等.....	37
(7) 研修会・講演会への参加.....	37
(8) 指定介護予防支援業務.....	38

令和3年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

■事業報告概要

◆はじめに

令和3年度は、第2次中期経営計画(地域福祉活動計画)3年度目にあたり、「ともに支えあい、心豊かに」を基本理念に、＜地域福祉と在宅福祉の融合＞、＜福祉の開拓者として＞の2項目を基本方針の柱に掲げ、事業推進を図りました。

また、地域共生社会の実現に向け、「地域福祉会議」を安芸高田市全域に設置するとともに、住民主体による地域課題の解決に向けた体制を構築するため、「地域福祉会議事業推進5か年計画」を策定しました。

さらには、8月に発生した大雨災害に際して、安芸高田市災害ボランティアセンターを設置し、多くのボランティアに協力をいただき、被災者の生活再建に向けた支援活動を行ないました。

組織全体として、地域福祉課、介護保険事業所と地域包括支援センターによる連携強化によるサービスの向上を行い、役職員が一丸となり事業活動の「見える化」を行なう中で、社協会員である地域住民に、社協の情報誌を配布し、社協事業の啓発を行ないました。

その中で、全世代を視野に置き、住民主体の地域課題の解決力の向上と地域支援のあり方を改めて確認しながら、将来像を見据え、地域共生社会の実現を目指し、次の重点取組を柱に各事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

◆令和3年度の取組

1. 地域福祉と在宅福祉の融合～地域共生社会づくりの強化

(1) 人つながりと地域づくりの強化

地域福祉会議の推進

県社協との協議を重ねながら、新たに3地域(高宮・甲田・向原)に地域福祉会議を設置し、安芸高田市全域での地域福祉会議の運営を行ないました。

相談窓口である地域包括支援センターおよび関係機関との連携を図りながら住民主体による課題解決に向けた体制整備を行ないました。

(2) 相談機能の強化

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じ、関係機関と連携を図り、早期対応と問題解決に取り組みました。

また、地域包括支援センターの普及および啓発を目的とした広報の発行や認知症予防や権利擁護等を目的としたパンフレットの作成、さらには、ふれあいサロン参加者等を対象とした出前講座を実施するなど、地域住民が気軽に相談できるよう、啓発活動を行ないました。

(3) 権利擁護支援体制の強化

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は36人、延支援回数4,889回となり、定期的な支援と、関係機関との連携により、専門的な支援を行ないました。

成年後見事業では、法人受任4件、延181回の支援を行ないました。

(4) 介護保険事業の充実と強化

介護保険事業では、コロナ禍でありながらも、利用施設等の衛生管理や利用者・職員の体調管理等を行ない、事業を推進しました。

また、ふれあいセンターこうだを介護拠点とした機能強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症や自然災害の影響下における事業継続を図るため、令和4年度策定を目標に、事業継続計画（BCP）策定ワーキング会議を開催しました。

(5) 地域包括支援センターの充実と強化

民生委員、関係機関と連携し、地域課題の解決に向けた支援を展開しました。「地域福社会議」と、協働し地域福祉へ社会福祉協議会としての役割が果たせるよう連携を強化しました。

委託事業所との連携を強化し、自立支援型ケアマネジメントを視野に適切な介護保険サービス等の利用調整、支援を行ないました。

(6) 他団体との連携

福祉・人材確保等総合支援協議会を開催し、福祉・介護人材の確保および育成、定着を図る取組の一環として、介護職員初任者研修を実施し13名の受講を支援し、全員が修了試験に合格できました。

引き続き、各団体や関係機関と協議しながら、地域の担い手を創出するために継続して事業を取り組みます。

2. 福祉の開拓者として～社協組織と財政基盤の強化

(1) 組織経営の強化

理事会、評議員会および各部会等の開催により、社協事業の適正な運営を図り、組織経営の強化に努めました。

また、監事会における指摘事項等を組織経営の改善の柱として取組を行ない、税理士等との連携を図りました。

(2) 事務組織の強化

Web会議を活用し、積極的にさまざまな研修に参加し、職員の資質の向上を図るとともに、事務組織の在り方等が定着するよう、内部研修を定期的に行ないました。

(3) 財源確保の強化

社協の事業に賛同、理解していただける取組を行ないながら、会費納入率の向上、寄附金の増額に向けて取り組みました。

地域福祉事業の財源となる共同募金運動として、コロナ禍のため街頭・イベント募金は中止としましたが、今年度も商工会の協力のもと、賛同をいただいた企業や商店の窓口に募金箱を設置するなど、赤い羽根募金活動を行ないました。

(4) 法令遵守等体制の整備

新型コロナウイルス感染症の対策として、感染症マニュアルに基づき「3密をさける」「手洗い、マスク着用」「不要不急の外出を避ける」等、役職員、利用者、住民の方々の協力のもと感染症対策を行いました。

また、同一労働同一賃金等働き方改革の整備に伴い、就業規則や給与規程の見直しを行ない、働きやすい環境を整えました。

■ 事業報告

令和3年度の各事業の実施状況について、以下、ご報告します。

【総務課】

(1) 法人運営事業

社協の基本理念や基本方針の下、役職員が共通認識を持ち、事業を円滑に進めるため、以下の会議、研修を開催するとともに会務の運営を図りました。

① 理事会：計6回

区分	内容	実施日
第1回	○令和2年度事業報告・資金収支決算の承認について他	令和3年5月31日
第2回	○会長、副会長の選定について他	令和3年6月16日
第3回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算(第2次)について他	令和3年9月21日
第4回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算(第3次)について他	令和3年11月29日
第5回	○規程の一部改正について、令和4年度事業計画、令和4年度資金収支予算について他	令和4年3月2日
第6回	○規程の一部改正について	令和4年3月29日

② 監査：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和2年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	令和3年5月19日
第2回	○令和3年度上半期事業報告および経理状況等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	令和3年11月16日

③ 評議員会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○令和2年度 社会福祉法人安芸高田市社会福祉協議会事業報告の承認について他	令和3年6月16日
第2回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算(第2次)について他	令和3年9月29日
第3回	○資金収支補正予算(第3次)について	令和3年12月8日

第4回	○資金収支補正予算（第4次）について、令和4年度事業計画、資金収支予算について他	令和4年3月11日
-----	--	-----------

④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○令和4年度予算要望について	令和3年11月10日

⑤ 総務部会

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	令和3年5月20日
第2回	○第4回理事会提出議案等についての審議他	令和3年11月24日
第3回	○第5回理事会提出議案等についての審議他	令和4年2月21日

⑥ 介護保険事業関係部会

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	令和3年5月21日
第2回	○第4回理事会提出議案等についての審議他	令和3年11月26日
第3回	○第5回理事会提出議案等についての審議他	令和4年2月25日

⑦ 総務・介護保険事業関係合同部会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○第3回理事会提出議案等についての審議他	令和3年9月16日

⑧ 広報委員会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○社協だより「第69号」掲載内容について	令和3年4月7日
第2回	○社協だより「第70号」掲載内容について	令和3年6月25日
第3回	○社協だより「第71号」掲載内容について	令和3年8月26日
第4回	○社協だより「第72号」掲載内容について	令和3年11月15日

⑨ 理事全員協議会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○地域福祉会議事業推進5か年計画の策定について、規程の一部改正について他	令和4年3月2日

⑩ 生活福祉資金貸付審査会

開催実績なし

⑪ 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会

開催実績なし

⑫ 役職員関係

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○令和3年度 新役員、新職員研修 ○社会福祉法人監事研修	令和3年7月15日 令和4年2月14日
職員研修	○職員の事務処理向上研修 ○その他事業別研修等	令和3年8月12日 随時

⑬ 会費関係

広報やホームページでの啓発やチラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

社協会費納入（集計金額 令和4年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,241,000	33,000	123,000	1,397,000
八千代	543,000	4,000	54,000	601,000
美土里	412,500	6,000	21,000	439,500
高 宮	491,500	4,000	51,000	546,500
甲 田	679,000	21,000	48,000	748,000
向 原	629,500	0	15,000	644,500
市 外		2,000	36,000	38,000
合 計	3,996,500	70,000	348,000	4,414,500

会員加入状況（令和4年3月31日現在）

〔単位：件〕

	賛助会員	団体会員
吉 田	33	41
八千代	4	18
美土里	6	7
高 宮	4	17
甲 田	21	16
向 原	0	5
市 外	2	12
合 計	70	116

(2) 福祉・介護人材確保基盤整備事業

行政、福祉団体、ハローワーク、県社協と協働して福祉・介護人材確保等総合支援協議会を設立し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取組を実践します。

①市福祉・介護人材確保等総合支援協議会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度協議会体制について ○協議会会長の選出について ○令和2年度事業報告及び決算報告について ○令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について ○関係機関との情報共有 ○令和3年度広島県社協の取組みについて 	令和3年7月21日

※第2回は、新型コロナウイルス感染症まん延防止及び市の集中対策期間のため中止

②介護職員初任者研修

募集期間：令和3年8月25日～9月25日

申込者：14人

研修期間：令和3年10月7日～令和4年1月20日（計14日間）

修了者：13人(1人退講)

(3) センター受託管理運営事業

安芸高田市から指定管理委託を受けた以下の施設について、地域の福祉拠点且つ多様化する住民ニーズに対応する場として、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら運営を行ないました。

延べ利用団体数、延べ利用人数（令和4年3月31日現在） [単位：団体、人]

管理施設	延べ利用団体数	延利用者数
保健センター	314	5,737
吉田老人福祉センター	196	1,477
ふれあいセンターいきいきの里	166	2,560
ふれあいセンターこうだ	63	605
合計	739	10,379

【地域福祉課】

(地域福祉事業)

(1) 小地域お茶の間づくり事業

(1) 常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、新たに吉田町で1地域で常設型のサロンを開所し、市内全域設置の充実を図りました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い緊急事態宣言等の期間中は活動自粛
お願い通知文書の発送

【活動実績表】

	お茶の間数 (うち新規数)	延開催数	延利用者数
吉 田	3 (1)	37	472
八千代	1	10	143
美土里	2	89	1,525
高 官	1	12	177
甲 田	1	1	55
合 計	8	149	2,372

(2) 認知症カフェ事業

(1) 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について関心のある方など、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として開催しました。

また毎月、関係機関による運営会議をおこない、利用者（81名）、支援員（15名）に手紙や自宅できる脳トレや軽運動の紹介することで、つながりの継続を図りました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2ヶ月1回の開催

なお、緊急事態宣言等の期間中は開催自粛

実施地域：吉田町

開催日：第4水曜日 10:00～11:00

場 所：ふれあいセンターいきいきの里

内 容：カフェ、相談対応等

実施地域：八千代町
開催日：第4月曜日 10：00～11：00
場所：八千代人権福祉センター
内容：カフェ、相談対応等

実施地域：美土里町
開催日：第4金曜日 10：00～11：00
場所：美土里方面隊第2分団コミュニティ消防センター
内容：カフェ、相談対応等

実施地域：高宮町
開催日：第4金曜日 14：00～15：00
場所：市役所高宮支所
内容：カフェ、相談対応等

実施地域：甲田町
開催日：第4木曜日 10：00～11：00
場所：ふれあいセンターこうだ
内容：カフェ、相談対応等

実施地域：向原町
開催日：第3火曜日 14：00～15：00
場所：向原生涯学習センターみらい
内容：カフェ、相談対応等

[実績表]

実施地域	延参加者数 (人)
吉田町	9
八千代町	11
美土里町	4
高宮町	14
甲田町	4
向原町	8
合計	50

(2) 認知症カフェ協力員会議

各町にて協力員会議を開催

日時：令和3年6月14日（月）～令和3年6月23日（水）

内容：コロナ禍の中の運営について

延べ出席者：14名

(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合計
登録者数	17	1	6	1	2	9	36
延支援回数	2,896	95	568	21	292	1,017	4,889
生活支援員	5	2	2	2	1	1	13

(4) 地域福祉交流推進基金事業

【地域福祉会議】

住民が主体的に地域の福祉課題を把握して、解決を試みる我が事の地域づくりおよび地域の福祉課題を包括的に受け止める丸ごとの地域づくりという地域共生社会の実現を目指す地域基盤づくりを行ないます。

「第2次地域福祉活動計画」の基本方針に掲げられている「地域福祉と在宅福祉の融合～地域共生社会づくりの強化～」をさらに推進していくためのアクションプランとして地域福祉会議事業推進5か年計画を策定し、地域福祉会議による解決に向けた取組を推進する仕組みづくりを行うとともに、誰もが身近な地域に必要な支援を継続的に受けることができるよう事業推進の一体的・包括的なネットワークの構築を行ないます。

(1) 地域福祉会議 議長会

日時：令和3年12月7日（火）

内容：地域福祉会議の進捗状況

令和3年度下期事業執行計画および助成金について

令和4年度計画について

出席者数：5名

(2) 地域福祉会議推進研修会（計2回）

日 時：令和3年10月13日（水）14：00～15：45

場 所：甲田文化センターミュージズ 文化ホール

講 師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課

地域共生社会推進室 専門相談員 井岡仁志氏

内 容：講演「地域の困りごとをみんなで把握し、解決していくために」

各地域で話し合い・発表

参加者数：44名

日 時：令和3年11月30日（火）13：30～15：30

場 所：美土里町生涯学習センターまなび フラットホール
 講 師：八頭町社会福祉協議会
 事務局長 平木 ひろみ氏
 コミュニティ・ソーシャルワーカー 藤田 亮二氏
 コミュニティ・ソーシャルワーカー 山本 誠氏
 内 容：講演「八頭町における地域づくり取組みについて」
 各地域で話し合い・発表
 参加者数：44名

(3) 地域福祉会議情報共有会議

日時：令和3年4月14日（水）13：30～

内容：地域福祉会議について

- ・広島県社協の指導を受け、各地域福祉会議の進捗状況や気づき、課題整理をおこないました。

出席者数：8名

(4) 地域福祉会議

① 既設箇所（令和元年度設置）

	委員数	開催数	延べ出席者数
吉田	12人	11回	105名
八千代	9人	10回	99名
美土里	10人	10回	75名

② 新設箇所（令和3年度設置）

高宮地域福祉会議（委員数5名）

区分	内容	実施日	出席者
準備会	○地域福祉会議の運営について	令和4年2月10日	5名
第1回	○地域福祉会議の運営について ○計画について	令和4年3月16日	5名

甲田地域福祉会議（委員数6名）

区分	内容	実施日	出席者
準備会	○地域福祉会議の運営について	令和3年12月6日	5名
準備会	○計画について	令和4年1月20日	4名
第1回	○計画について	令和4年2月17日	6名
第2回	○計画について ○委員選出について	令和4年3月17日	6名

向原地域福祉会議（委員数6名）

区分	内容	実施日	出席者
準備会	○地域福祉会議の運営について	令和4年1月25日	3名
準備会	○地域福祉会議の運営について	令和4年2月24日	3名
第1回	○計画について	令和4年3月23日	6名

(5) ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくりとしてふれあいサロンを推進し、各サロンへの活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営についての相談、ふれあいサロン代表者会議での情報提供等を行ないました。



※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い緊急事態宣言等の期間中は活動自粛お願い通知文書の発送

[活動実績表]

	サロン数（うち新規数）	開催数	延利用者数
吉田	18 (4)	132	1,692
八千代	17 (1)	83	955
美土里	9	81	1,254
高宮	4	16	118
甲田	23	153	1,522
向原	16	102	1,345
合計	87 (5)	567	6,886

(1) サロン代表者会議

	開催数	延出席者数
吉田	0	0
八千代	3	42
美土里	2	23
高宮	0	0
甲田	0	0
向原	0	0
合計	5	65

(6) 成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

〔実績表〕

	後見	保佐	補助	合計
受任件数	4	0	0	4
延支援回数	181	0	0	181

(7) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

(1) ボランティアの発掘・育成

① 「ぶちボランティアスクール」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 「福祉・介護・出前講座」

地域の住民の集会等において、福祉および介護に関する知識や情報を収集することを支援するため、市社協職員又は市社協が認める外部組織の講師を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。

〔実績表〕

	講座回数	受講者数
認知症	5	84
薬と健康の管理	3	27
健康づくり	3	43
福祉体験	1	49
レクリエーション	4	57
高齢者の生き方	2	23
介護の豆知識	1	15
福祉・介護制度	1	8
合計	20	306

(2) ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページ等を活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。

[実績表]

	登録者数 (人)	登録団体数
吉 田	102	1
八千代	5	1
美土里	81	7
高 宮	17	1
甲 田	4	0
向 原	4	0
市 域	29	3
合 計	242	13

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・朗読ボランティア・手話ボランティア・外国人支援・動物福祉など

(3) 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

①会議開催

1) 安芸高田市ボランティア連絡協議会

[第1回]

日 時：令和3年10月26日(火) 13:30～

内 容：令和2年度事業報告・決算について
令和3年度事業計画・予算について
市域交流会について

出席者：6人

2) 交流活動

日 時：令和3年11月21日(日) 9:00～13:00

内 容：郡山城登山道付近清掃活動

参加者：59人

②ボランティア交流会

災害ボランティアセンターで協力いただいたボランティアの方々を対象に、今後の災害に備え、安芸高田市社会福祉協議会（災害ボランティアセンター）と継続したつながりを構築するとともに、ボランティアの育成、助け合う地域社会の構築を目的に開催しました。

日 時：令和4年3月24日（木）13：30～14：30
場 所：ふれあいセンターいきいきの里
参加者数：8名

(4) 被災者生活サポートボラネット推進事業

いざという時の「共助」を培うために、平常時も被災者生活サポートボラネットを常設させ、関係機関・団体等と災害時における対応について改めて確認しました。構成団体：20団体

①会議開催

被災者生活サポートボラネット推進会議

日 時：令和3年6月30日（水）13：30～14：45
場 所：安芸高田市保健センター 第1研修室
内 容：被災者生活サポートボラネットについて
災害ボランティアセンター運営の考え方について
安芸高田市被災者生活サポートボラネットにおける各機関の役割について
被災者生活サポートボラネット推進マニュアルについて
災害シミュレーション研修について
出席者：18人

②災害シミュレーション研修

日 時：令和3年7月29日（木）13：30～15：50
場 所：安芸高田市八千代人権福祉センター
出席者：29名

(5) 安芸高田市災害ボランティアセンターの開設

①災害ボランティアセンター運営

令和3年8月11日からの大雨により発生した被害において、8月16日から安芸高田市ボランティアセンターを設置しました。コロナ禍の運営となり、ボランティア活動募集を市内在住者に限定し、8月20日から被災した住宅等において、ボランティアによる活動を行ないました。

開設期間：令和3年8月16日～10月21日

設置場所：ふれあいセンターいきいきの里（9月30日まで活動拠点）
（安芸高田市吉田町常友1254-15）

安芸高田市保健センター（10月1日から活動拠点）

受付方法：事前受付制（事前登録システムの活用、お太助フォン等で告知、電話等で事前に受付し、当日来所にて受入。）

活動時間：午前10時から午後3時

活動件数：110件

活動内容：家屋の泥出し、家屋の清掃、家財等の運び出し等
その他センター内でのボランティア受付、各種帳票入力、
調査内容確認、運営補助等

ボランティア登録者：315人
 ボランティア延べ活動者数：640人
 支援物資等受入件数：51件
 寄附金寄贈件数：12件



②災害ボランティア活動終了後の生活支援

災害被害により顕在化したニーズに対して、継続した生活支援（サービスのみならず、インフォーマルサポートおよび資源開発等）が必要と思われる世帯を精査するため調査を行ないました。

調査期間：令和3年10月14日から10月20日まで

調査結果：完了したニーズ122件の調査を行い、つながりの希薄世帯に関して、平時からの見守り機能強化のための地域づくり支援、介護サービスへの移行支援、災害による精神的不安定な世帯に対しての支援が必要と思われる世帯が10件あり、今後も地域包括支援センター等と協働し、継続した支援活動を行う。

(8) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数：436件

協力員数：55人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限

〔活動内容〕

内 容	活動件数
家事援助（掃除・調理等）	150
見守り・話し相手	28
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	143
買い物	87
薬の受取り	20
その他	8
合 計	436

(9) 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。

(1) 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての利用申請手続きも行ないました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限

[実績表]

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	8	5	90	0	0
八千代	7	5	61	1	0
美土里	6	4	50	0	1
高 宮	0	0	0	0	0
甲 田	7	5	76	0	0
向 原	0	0	0	0	0
合 計	28	19	277	1	1

(10) ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

支援件数： 712 件
 提供会員： 46 人
 依頼会員： 52 人
 両方会員： 3 人



[支援内容]

内 容	支援件数 (件)
学童保育・学校の送迎	543
学童保育の開始前や終了後の預かり	161
保育施設の開始前や終了後の預かり	8
合 計	712

(1) 交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り会員合同での研修会を開き、安芸高田市消防署警防課の方に子どもに起こりやすい事故の話や救命措置の大切さ、心肺蘇生法、AEDの使い方等を学びました。研修終了後には、緊急車両の見学をさせていただきました。

「ファミリー・サポート・センター事業一時預り事業合同研修会」

日 時：令和3年12月18日(土) 9:30~12:30

内 容：子どもに起こりやすい事故と応急手当、
救命措置の大切さ、心肺蘇生法、AEDの使い方

参加者：提供会員5人、依頼・一時預り会員3人、
その他1人、子ども5人、計14人

(11) 子育て支援センター一時預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預かり、保育を行ないました。



支援件数：147件

会員数：147人

〔利用理由〕

内 容	利用件数
保護者の通院・体調不良	53
私用	36
保護者の勤務の都合	23
兄弟姉妹の行事の参加	12
家族の通院・健診等	5
買い物	5
引っ越し準備	5
リフレッシュ	3
就職活動	3
免許の更新・確定申告	2
合 計	147

(12) 障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に関する相談対応等行ないました。

[実績表]

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	3	0	0	0	0	0	3
延支援回数	70	0	0	0	0	0	70
生活協力員	7	6	1	2	2	1	19

(1) 講演会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(13) 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせて安否確認や体調の変化の察知を行ない、次に繋がるよう推進しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手洗い、うがい、マスク着用の徹底。滞在時間の短縮。



[実績表]

	八千代	高 宮	甲 田	合 計
登録者数	11	13	5	29
配食回数	100	48	36	184
配食数	826	480	130	1,436

(14) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業

資金名	令和2年度	令和3年度		
	年度末件数	新規貸付 件数	償還件数	償還免除 件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	3	0	0	0
(2) 緊急小口資金	6	0	1	0
3. 生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルスの影響による貸付）				
(1) 緊急小口資金	104	15	1	0
(2) 総合支援資金	22	15	0	0

(15) 車椅子1日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的（1日間）に必要とされる方へ無料で貸出を行うことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

〔実績表〕

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
利用者数	11	4	0	4	0	6	25

(16) 一般介護予防事業（げんき教室）

地域の集会所を拠点に、高齢者がいつまでも元気でいきいきと生活していけるよう、介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、教室ごとに地域性や参加者の身体的状況を考慮し、創意工夫を凝らしたメニューにより、生活機能の維持・向上に向けた取組みを行ないました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、参加者の健康と安全を第一に考えた取組みをおこないました。

- ①内 容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防、口腔機能訓練など
- ②対象者：65歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けていてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サービスを利用していない方

③開催日：年間 49 回まで

④場 所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里
丹比生活改善センター・丹比西集会所
ふれあいセンターこうだ・山田集会所
高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所
北原集会所・前田会館

※新型コロナウイルス感染拡大予防として
参加者の健康と安全を第一に考え自粛しました。

令和3年5月17日（月）～6月18日（金）

令和3年8月27日（金）～9月30日（木）

令和4年1月13日（木）～3月7日（金）

令和4年3月22日（火）～3月25日（金）



〔実績表〕

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
吉田	吉田老人福祉センター	16	30	310
	ふれあいセンターいきいきの里	17	31	362
	丹比生活改善センター	16	31	405
	丹比西集会所	15	28	212
甲田	ふれあいセンターこうだ	17	29	228
	山田集会所	8	28	105
	高地ふれあい集会所	10	28	141
	長屋集会所	11	28	170
	火の谷集会所	7	29	133
八千代	北原集会所	11	31	168
	前田会館	9	28	180
合 計		137	321	2,414

【関連機関事務事業】

(1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

①運営委員会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和2年度事業報告・決算の承認について ○運営委員の選任について	令和3年8月25日
第2回	○令和4年度事業計画・会計予算について	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決

②審査委員会：開催実績なし

③募金実績（集計金額 令和4年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉田	1,224,500	121,752	287,200	2,999	47,739	0	0	1,684,190
八千代	548,000	37,832	50,000	0	14,219	0	0	650,051
美土里	422,500	42,000	56,000	0	7,386	0	0	527,886
高宮	488,500	50,000	79,600	0	11,930	0	0	630,030
甲田	676,500	59,000	53,000	0	20,456	0	0	808,956
向原	625,400	43,000	57,600	0	6,363	0	0	732,363
市外					0	0	0	0
合計	3,985,400	353,584	583,400	2,999	108,093	0	0	5,033,476

(2) 共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

①社会福祉協議会事業への配分

- ・地域福祉交流基金事業 670,000円
- ・ボランティア活動事業 30,000円
- ・ふれあいサロン事業 872,000円
- ・配食サービス事業 215,000円
- ・小地域のお茶の間づくり事業 490,000円
- ・認知症カフェ事業 200,000円
- ・ほほえみネット事業 350,000円

②地域助成事業配分

- ・市内の地域住民で組織する1団体へ総額100,000円の助成

③共同募金委員会運営



(2) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資金（会費）の募集を行ないました。また、災害に対し各義援金を取扱い、広島県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別会費	○福祉委員へ依頼通知 500 円／戸	令和 3 年 5 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日

① 会費納入（集計金額 令和 4 年 3 月 31 日現在） [単位：円]

	一般会費	世帯数	納入世帯数	納入率
吉 田	1, 187, 500	3, 818	2, 382	62. 3%
八千代	526, 000	1, 239	1, 071	86. 4%
美土里	410, 100	906	820	90. 5%
高 宮	452, 000	1, 203	904	75. 1%
甲 田	640, 500	1, 642	1, 261	76. 7%
向 原	630, 500	1, 451	1, 261	86. 9%
合 計	3, 846, 600	10, 259	7, 699	75. 0%

②災害義援金受付状況 [単位：円]

義援金・救援金名	受付期間	義援金
平成 30 年 7 月広島県 豪雨災害義援金	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	2, 485
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	81
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	10, 665
令和 3 年 7 月大雨災害義援金	令和 3 年 7 月 9 日～ 令和 3 年 12 月 28 日	160
令和 3 年 8 月大雨災害義援金	令和 3 年 8 月 23 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	4, 902
令和 3 年 8 月大雨災害義援金 (広島県分)	令和 3 年 8 月 26 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	101, 314

③災害、火災等への支援協力

〔災害支援〕

災害発生日	地域	状況	毛布	安眠 セット	緊急 セット	パジャマ	寝衣大	寝衣小
令和3年12月29日	高宮	全焼	0	0	0	0	0	0
令和4年1月2日	八千代	全焼	1	1	1	1	1	0
令和4年2月7日	八千代	全焼	8	8	2	8	3	5

※ひとり暮らしの方の住宅で火災が発生し、火災により亡くなられたため、災害救援物資の交付はなく香華料を贈った。

④赤十字講習会

〔実績表〕

〔単位：回〕

AED	救急法	災害時高齢 者生活支援 講習	健康生活 支援講習会	幼児安全法	合 計
0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会が中止・延期された。

【在宅福祉課】

介護保険事業

介護保険事業では、コロナ禍でありながらも利用者の暮らしや大切な命を支える事業所として、利用施設等の衛生管理や利用者・職員の体調管理等を行なうことで、事業所の休止や一時閉鎖をすることなく、事業を展開することができました。また、まん延防止や緊急事態宣言下においてもオンラインで研修を受講することにより、サービスの資質向上に努めました。

体制整備としては、ふれあいセンターこうだを介護拠点とした機能強化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症や自然災害の影響下における事業継続を図るため、令和4年度策定を目途に、事業継続計画（BCP）策定ワーキング会議を開催しました。

（本所事業所）

（1）居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成等を行ないました。質の高いマネジメントを実施するため、事業内での情報共有や研修機会を確保しスキルの向上を図るとともに、支援困難ケースへの積極的な対応を行ないました。地域支援活動を通し、介護保険制度の説明や介護予防への働きかけを積極的に行いました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	1,906	158	104%

2) 介護予防・総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	240	20	90%

3) 要介護認定調査

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	90	7	204%

4) 困難事例対応

〔実績表〕

	困難事例受入数 (人)	地域ケア会議出席(回)	前年対比
令和3年度	4	1	133%

5) 地域支援活動(町別)

今年度は、コロナ禍で、19件あった依頼のうち10件が中止となりましたが、実施できた9件については、介護保険制度の説明やレクリエーションを通して介護予防への働きかけを積極的に行いました。

〔実績表〕(出前講座講師)

	支援活動数(回)	延支援活動数(人)
吉田	4	38
八千代	3	27
美土里	0	0
高宮	0	0
甲田	1	8
向原	1	18
合計	9	91

(吉田事業所)

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、利用者の有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件(計画的な内・外部研修、定例会議等)を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	475	40	90%

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	148	12	78%

(2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域で、安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行いました。

1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	129	11	79%

2) 地域生活支援：移動支援

実績なし

(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）

市からの要請依頼により、養育支援が特に必要な家庭に訪問介護員が家事及び育児等の援助を行なう事業で、今年度は訪問介護甲田事業所での対応となりました。

(4) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	12	1	92%

(甲田事業所)

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	498	41	123%

2) 総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	144	12	100%

(2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	24	2	80%

2) 地域生活支援：移動支援

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	12	1	109%

(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）

市からの要請依頼により、養育支援が特に必要な家庭に、訪問介護員が家事及び育児等の援助を行ないました。また、利用家庭は1件で延利用回数は以下のとおりです。

[実績表]

	延利用回数(回)
令和3年度	9

(4) 産前産後サポート事業（受託）

今年度より実施した事業で、市からの要請依頼により産前産後の支援が特に必要な家庭に、訪問介護員が家事及び育児等の援助を行ないました。また、利用家庭は1件で、延利用回数は以下のとおりです。

〔実績表〕

	延利用回数（回）
令和3年度	11

(5) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮してもらえよう、能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューを行ない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	469	39	96%

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	103	9	75%

(6) 福祉用具貸与事業

利用者が可能な限りご自宅等で、自立した日常生活を営んでいただけるよう、心身の状況や希望、生活環境を踏まえて適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ないました。福祉用具の貸与・販売を通して、利用者の自立支援や介護者の負担軽減を図りました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	前年対比
令和3年度	2,616	218	94%

2) 介護予防

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和3年度	1,242	103	87%

3) 自費レンタル事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	前年対比
令和3年度	267	22	122%

(7) 福祉用具販売事業

全体 (介護保険・介護予防・介護保険対象外等)

[実績表]

	延利用件数(件)	月平均利用件数 (件)	前年対比
令和3年度	71	6	69%

【地域包括支援センター】

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	相談件数
本人	52
家族	184
市役所	37
介護サービス事業所	161
病院・薬局	67
障害者基幹相談支援センター	5
社協	22
民生委員	59
福祉委員	0
近所	2
知人	3
警察	0
他市町	1
障害サービス事業所	1
その他	2
合 計	596

相談内容	件数
在宅介護	47
公的福祉サービス	17
介護保険	412
認知症	33
福祉用具	16
住宅改修	5
公的サービス以外の社会資源	4
高齢者虐待	6
成年後見	3
消費者被害	2
アルコール依存等	1
行方不明	2
精神・健康問題	18
生活困窮	8
その他	22
合 計	596

相談方法	件数
電話	440
来所	140
訪問	0
外出先で相談を受けた	16
その他（会議等）	0
合 計	596

○相談支援実績：三職種が他機関と連携して支援した実績
(7月より包括全職員実績)

令和3年度	支援実人数	795人
	支援延べ回数	6,137回

支援の詳細 ※重複あり

連携機関	相談件数
本人	2,737
家族・親族	1,690
ケアマネ	540
介護サービス事業所	1,457
市役所	430
病院・薬局	456
民生委員	176
社協	94
友人・知人・隣人	80
業者	111
消防・警察	32
障害者基幹相談支援センター	19
県・他市町	13
その他	30
合 計	7,865

支援内容	件数
介護保険	4,250
健康・医療	838
家族関係・人間関係	275
精神・アルコール	252
認知症	359
生活環境	493
家計・経済	320
福祉サービス	364
権利擁護（後見・虐待）	203
福祉サービス外	226
行方不明	4
その他	13
合 計	7,597

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。

○安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会

回数	日時・場所	内容
1	令和3年4月15日 13時30分～ クリスタルアージュ 201研修室	① 市役所からの連絡事項 ② 意見交換 ③ 事務連絡 ④ その他
2	令和3年7月15日 13時30分～ クリスタルアージュ 202 研修室	① 情報交換・事務連絡 ② ケアプラン同意日が後日のケースについて ③ BCP 作成の進捗状況と意見交換 ④ 安芸高田ブロック長会議報告
3	令和3年10月21日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 事例発表 社協居宅青崎 CM 「R3年8月13日の豪雨災害におけるケアマネとしての連携と課題について」 ② 市役所からの連絡事項 ③ 情報交換・事務連絡 ④ その他
4	令和4年3月17日 13時30分～ クリスタルアージュ 101研修室	① 市役所からの連絡事項 ② 令和3年度総会 ③ 情報交換・事務連絡 ⑤ その他

○小規模多機能運営協議会参加状況

	楽々苑	GH 甲田	ふあみ りい	GH 向原	匠	特養 甲田	通所介 護吉田	清風会 もみじ	合計
参加回数 (書面)	0(6)	0	2(3)	1(3)	2(2)	0	0(2)	1(1)	6(17)

GH:グループホーム

○「野中式事例検討会」の開催

<第1回>

開催日：令和3年10月21日（木）18：30～20：00

場 所：クリスタルアージュ 小ホール

内 容：野中式事例検討会

参加者：26人（10事業所）市役所2人



<第2回>

令和4年3月11日（金）18：30～20：00 予定であったが、コロナ感染拡大による施設利用制限のため次年度に延期となる。

○「自立支援型ケアマネジメント研修会」の開催

<第1回>

開催日：令和3年12月14日（火）13：30～15：30

場 所：クリスタルアージュ 402 研修室 + ZOOM による参加

内 容：講義『自立支援に向けた計画書へ』

～なぜ計画書が必要？当たり前をもう一度考えてみよう！！～

講 師：ケアマネマイスター 小野 祥津紀氏

市役所：「令和3年度ケアプラン点検について」

参加者：会場22名（7事業所+市役所）+ オンライン19名（7事業所）



(3) 地域ケア会議

地域の関係機関との連携、介護支援専門員の後方支援を通じた包括的・継続的なケア体制の構築を図りました。

○個別課題解決：2件

回数 月日	協議内容	地域の共通課題	参加者	人数
第1回 5/21	情報共有と今後の対応について	独居 認知症高齢者に対する理解と受け入れ	小規模多機能・居宅介護支援事業所・市役所・市役所支所・社協・社協支所・包括	11人
第2回 10/11	情報共有と今後の対応について	認知症・独居・成年後見	地域医療連携室・居宅介護支援事業所・地域医療連携室・障害者基幹相談支援センター・障害者相談事業所・障害者支援事業所・市役所・社協・包括	16人
合 計				27人

○地域課題解決：1件

回数 月日	協議内容	地域の共通課題	参加者	人数
第1回 2/22	認知症の方を地域で支えるために。安芸高田市での現状と課題について。	認知症の方の在宅支援は、幅広い支援が必要である事が多いが、家族や介護保険事業所からの支援では限界がある。地域の方々の支援を有するが、地域としては不安が大きく受け入れが難航し在宅生活が難しくなる事もあり、今後どのように認知症の受け入れを地域全体に進めていくかを協議。	地域医療連携室・障害者基幹相談支援センター・ケアマネマイスター・障害福祉サービス事業所・訪問看護事業所・訪問介護事業所・居宅・老人福祉施設連絡協議会・通所介護事業所・市役所・社協・包括	12人
合 計				12人

○第1回「通所系サービス事業所(甲田町地区) 情報交換会」の開催

包括(ランチ)として、前年度の市内全体の通所の会の縮小版として、甲田の通所事業所に開催を提案し、日々の業務・様々な取り組み・抱えている課題等の共有を行う。事業所間同士での連携の強化、質の高いサービス提供を行なえる事業所体制の構築ができるきっかけ作りに繋げるため、定期開催とする。

日 時：令和3年12月10日(金) 13:30~14:30

場 所：社協甲田支所 会議室

内 容：事業所紹介

業務について

今後の開催について

参加事業所：通所介護事業所(3事業所) 通所リハビリテーション事業所(1事業所)

小規模多機能型施設(1事業所)

※2か月に1回の開催予定であったが、2月・3月（コロナ感染拡大のため延期）

(4) 権利擁護業務

○高齢者虐待への対応

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

項目	件数	備考
1) 相談・通報受理件数	7	
2) 相談・通報者		
介護支援専門員等	5	居宅2・民生委員2 医療機関1
本人	0	
家族・親族	2	
行政職員	0	
3) 事実確認調査の結果		
虐待と判断	0	
虐待ではないと判断	1	
虐待の判断に至らなかった	4	
経過観察・事実確認中等	2	
4) 終結	2	

○成年後見制度の活用促進

制度の利用が必要と思われる高齢者及び親族等関係者からの相談に対し、制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介及び、市長申し立てに関する検討を行った。関係機関との連携のもと成年後見制度講演会や相談会へ参加した。

○消費者被害の防止

市民に対する啓発を目的にパンフレットを配布した。また訪問や相談業務等を通して情報提供を行い未然防止に努めた。定期的に警察署や市役所と情報交換を行い、消費者被害の現状について関係機関への情報提供を行った。

(5) 関係機関との連携

○会議への参加

内 容	回数	会場	Web
市との定例会議	会議 12 回	○	
安芸高田市高齢者福祉・介護保険運営協議会	会議 1 回	○	
障害者自立支援協議会	会議 8 回 研修 1 回	○	○
令和 3 年度 地域・職域連携推進会議	会議 1 回		○
令和 3 年度 成年後見・高齢者虐待対応実務者連絡会議	会議 1 回	○	
市町ヒヤリング	会議 1 回		○
広島県地域包括ケア推進会議	会議 1 回		○
老人クラブフレイル協議	会議 1 回	○	
令和 3 年度 市町等苦情処理ブロック別連絡会議	会議 1 回	○	
第 1 回保健医療計画・地域包括ケア推進部会	会議 1 回		○
合 計	会議 29 回	24	5

○研修会・講演会への参加

内 容	回数
多職種・連携研修会	2 回
ミニ市民公開講座	1 回

○出前講座

ふれあいサロン参加者等を対象とした出前講座を開催しました。

	開催月日	対象者	町	内 容	参加人数
1	5/13	カンナサロン	美土里	認知症	13 人
2	7/15	坂中ふれあいサロンにこここ会	向原	心の健康	13 人
3	8/10	ひまわりサロン	八千代	高齢者の生き方	11 人
4	10/14	小山やまびこサロン	吉田	健康づくり	15 人
5	10/18	かえでサロン	甲田	認知症	10 人
6	10/20	吉田町民生委員児童委員協議会	吉田	認知症	35 人
7	10/28	四つ葉サロン	吉田	認知症	12 人
8	11/14	おてだまの会	吉田	高齢者の生き方	12 人
9	11/17	てらやまサロン	向原	健康づくり	15 人
10	12/8	末石スマイルサロン	八千代	認知症	14 人
11	3/23	ふれあいサロン「いりゑ」	吉田	認知症	12 人
合 計					162 人

(6) 広報等

○地域包括支援センターの普及啓発を目的とした広報の発行(包括だより)

発行日	内容
No.13 令和3年5月号	相談報告・認知症①軽度認知障害(MCI)について
No.14 令和3年7月号	ひきこもり予防について・認知症予防②食事・水分摂取について
No.15 令和3年11月号	特殊詐欺にご用心・認知症予防③運動(身体活動)について
No.16 令和4年2月号	コロナ禍での社会参加とフレイル予防・認知症予防④社会参加について
号外No.1 特別号	地域包括支援センター(ブランチ)の紹介
号外No.2 詐欺啓発号	介護施設の入居権利に関する詐欺電話に注意!

○認知症予防や権利擁護等を目的としたパンフレット作成

	パンフレット名	部数
1	すこやか介護保険	1,000部
2	ACPの手引き	200部
3	これから手帳	100部
4	知っておきたい「認知症」のこと	200部

(7) 研修会・講演会への参加

○研修会への参加

内 容	回数
主任介護支援専門員スキル向上関連	4回
健地域包括支援体制関連	3回
虐待対応スキル向上関連	1回
保健・医療対応関連	7回
県高齢者の自立支援関連	2回
地域共生社会での地域支援関連	3回
地域包括支援センター職員スキル向上関連	11回
市内多職種連携研修関連	2回
合 計	33回

(8) 指定介護予防支援業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

○指定介護予防支援業務

		延利用者数 (人)	月平均利用者数 (人)
令和3年度	直営分	2,301人	192人
	委託分	1,544人	128人
	合計	3,845人	320人

○介護予防ケアマネジメント

		延利用者数 (人)	月平均利用者数 (人)
令和3年度	直営分	748人	62人
	委託分	552人	46人
	合計	1,300人	108人

○認定調査

	延調査件数 (人)	月平均調査件数 (人)
令和3年度	26人	2.4人